

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県清須市春日長畑 1 番地	
氏名 豊田合成株式会社	
取締役社長 小山 享	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 052-400-1055	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	豊田合成株式会社 稲沢工場
事業場の所在地	愛知県稲沢市北島米屋境 1
計画期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	31 . 輸送機械機器具製造業
2 事業の規模	製造品出荷額：15, 155 百万円
3 従業員数	688 人

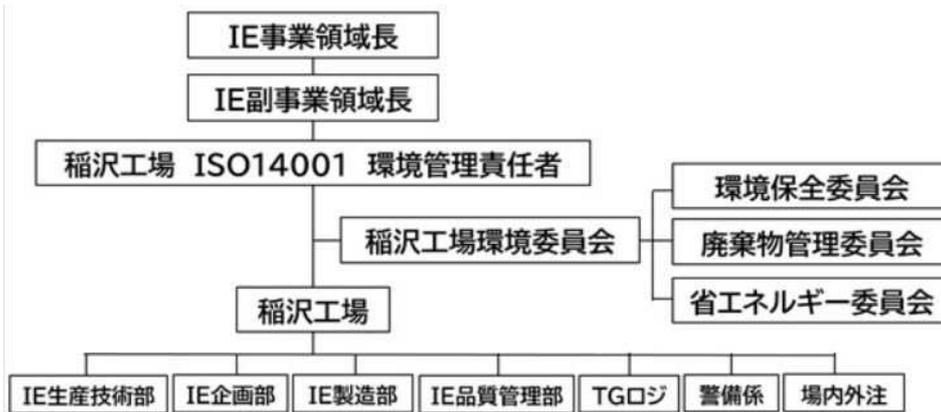
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥：中間処理業者に委託して、焼却若しくは脱水後再資源化 ・廃油：中間処理業者に委託して、再資源化又は焼却後再資源化 ・廃アルカリ：中間処理業者に委託して、中和再資源化 ・廃プラスチック：中間処理業者に委託して、焼却後再資源化 中間処理業者にいたくして、RPF 燃料として再資源化 社内でリペレ化し、再利用 ・木屑：中間処理業者に委託して、チップとして再資源化 ・金属屑：再生処理業者に委託して、再生金属として再資源化 ・ガラス・陶磁器屑：中間処理業者に委託して、焼却後再資源化
-----------------	---

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出 量	別紙の通り t	t
	(これまでに実施した取組) ・塗装ロボットムダ吹きロス低減による塗料カス低減 ・インサート TP0 押出品の有価化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出 量	別紙の通り t	t

		(今後実施する予定の取組) ・塗着効率UP改善による塗料コスト低減 ・木くず有価化
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・当事業所では、平成14年8月用り分別徹底のための取引方式を 全面に取り入れ、分別徹底を図っており、結果として、分別可能な 混合廃棄物は発生しておりません。
②計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・従来の活動を継続する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) ABS、TPO 廃材の材料リサイクル		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 異物性製品の材料リサイクル		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った	別紙の通り	t

	産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施する予定はない		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	・全廃棄物を社外リサイクル又は中間処理できるように分別して おり、埋立処理は発生していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	t

		(今後実施する予定の取組) ・分別活動の継続		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
1 現状	【前年度（令和 3 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り		
	全処理委託量	別紙の通り	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	t	t
	(これまでに実施した取組) ・当事業所から発生する廃棄物は、ほぼ 100 %が再生利用（マテリアル・サーマルリサイクル）されている			

(第 5 面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙の通り		
	全処理委託量	別紙の通り	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t	t

	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	別紙の通り	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の活動を継続し、廃棄物の再生利用拡大を推進する。 ・新規業者選定時は、優良認定業者・認定熱回収業者かを確認・考慮し、委託検討を行う。 			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和3年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	排出量	300.7 t	15.2 t	24.0 t	2.1 t	719.4 t	13.9 t	1.5 t	0.1 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	排出量	285.7 t	14.4 t	22.8 t	2.0 t	683.4 t	13.2 t	1.4 t	0.1 t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和3年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	531.8 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	505.2 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和3年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				

(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和3年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和3年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	全処理委託量	300.7 t	15.2 t	24.0 t	2.1 t	187.6 t	13.9 t	1.5 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	300.7 t	15.2 t	24.0 t	2.1 t	187.6 t	13.9 t	1.5 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託量	281.5 t	0.0 t	24.0 t	2.1 t	9.3 t	13.9 t	1.4 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	19.2 t	15.2 t	0.0 t	0.0 t	2.8 t	0.0 t	0.1 t	0.1 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス及び陶磁器屑
	全処理委託量	285.7 t	14.4 t	22.8 t	2.0 t	178.2 t	13.2 t	1.4 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	285.7 t	14.4 t	22.8 t	2.0 t	178.2 t	13.2 t	1.4 t	0.1 t
	再生利用業者への処理委託量	267.4 t	0.0 t	22.8 t	2.0 t	8.8 t	13.2 t	1.3 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	18.2 t	14.4 t	0.0 t	0.0 t	2.7 t	0.0 t	0.1 t	0.1 t